

士別市地域公共交通活性化協議会 平成20年2月28日設置



概要

士別市は、広い行政面積のなかで集落が分散しており、農村部における路線バスの運行効率が低く、バス事業者の赤字が増大しているほか、中心市街地の活性化のためのバスの利便性向上が課題となっている。このため、中心市街地におけるバス路線の見直し、ワンコインバスの導入、農村部におけるデマンドバス、乗合タクシーの導入等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(士別駅、下士別駅、多寄駅)
- ・士別軌道(株)バス(15路線)
- ・予約制乗合バス(1路線)
- ・コミュニティバス(2路線)
- ・スクールバス(1本)

○地域公共交通の課題

- ・農村部を運行する路線バスの運行効率の向上
- ・中心市街地におけるバスの利便性の向上
- ・バス待合施設の改善

○調査の主な内容

- ・地域特性の整理(公共施設、年齢構成等)
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・温根別地域におけるデマンドバス等の試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・中心市街地におけるバス路線の見直し、ワンコインバスの導入検討
- ・農村部におけるデマンドバス、乗合タクシーの導入検討
- ・バス待合施設の整備(シェルターの設置)の検討
- ・バスマップの作成、商店街との連携等による利用促進の検討

